

平成25年2月12日

東海・東南海・南海地震発生時の対応策について

近鉄では、東海・東南海・南海地震が発生した際のお客様の安全確保と被害の軽減を目的として、さまざまな対応策を検討しています。

このたび、名古屋線、山田線、鳥羽線、志摩線、鈴鹿線、内部線の津波浸水予想区域を対象に、お客様の避難誘導を円滑に行えるよう、緊急避難誘導標を設置します。(平成25年2月から順次)

このほか、特急および一般列車に避難はしごを搭載するほか、「津波発生時の緊急避難場所」地図を作成し、乗務員等へ配布することで、津波発生時の安全なお客様誘導に努めています。

詳細は別紙のとおりです。

津波発生時の緊急避難誘導標（設置イメージ）



終端標



線路内避難方向指示標



線路外脱出方向指示標

別紙

1. 津波発生時の緊急避難誘導標の設置

- ・時期 平成25年2月から順次（平成25年4月 設置完了）
- ・場所 名古屋線、山田線、鳥羽線、志摩線、鈴鹿線、内部線の津波浸水予想区域の線路電柱（約1,100カ所）



始端標



終端標



線路内避難方向指示標



線路外脱出方向指示標

2. 避難はしごの搭載

- ・時期 平成24年11月から順次（平成28年3月で搭載完了予定）
- ・対象 特急列車および一般列車
- ・台数 1編成に1～2台 計約500台



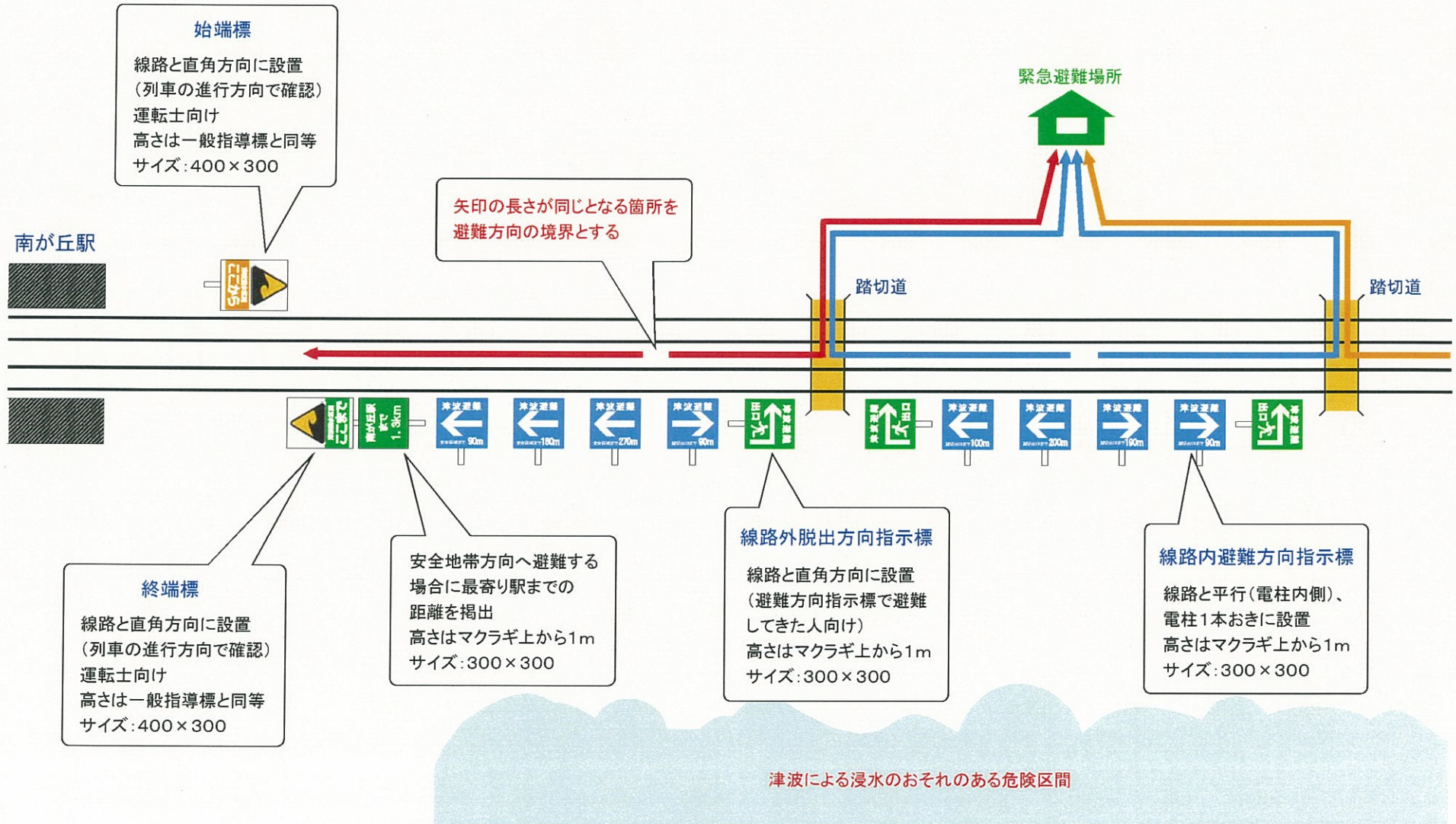
3. 「津波発生時の緊急避難場所」地図の作成

- ・時期 平成24年2月配布
- ・内容 津波発生時の公共避難所および緊急避難場所、それぞれの避難場所の標高、避難場所への経路を記載 全51ページ
(被害予測の見直し、自治体の防災計画に合わせて随時更新)
- ・配付先 乗務員全員、駅などの各職場、自治体、警察署、消防署



以上

津波発生時の緊急避難誘導標の設置イメージ



各標は、原則海側の電路柱に取り付ける。